

# ☆放課後子ども教室☆

お盆を過ぎれば秋の風といいますが、夏らしい暑さが続いています。この夏、放課後子ども教室は、“厚真ならではの活動”にこだわった2つの夏休み特別教室を行いました。活動に際し、ご協力いただいたすべての皆様に改めてお礼を申し上げます。

1つ目は7月26日(土)に【浜あつま海あそびデイキャンプ】を実施(小学1~6年生まで40名が参加)。午前中は海遊びに使う道具を手作りし、午後からは海でマイボードを使っての波乗り遊びやサーフィン体験などを行いました。海遊びには地元のサーファーのみなさんがお手伝いに来てくださり、波乗りの仕方を教えてくれたり、ボードに乗るサポートをしてくれたりしました。あいにくの天気でしたが、子どもたちは自分で手作りしたボードを手に何度も高い波にチャレンジ!寒さにも負けず海遊びを満喫しました。



2つ目のプログラムは、7月30日(水)・31日(木)の2日間にわたり【あつまっ子カフェ@ともいきの里夏祭り】という活動を行いました(小学3~6年生まで22名が参加)。このあつまっ子カフェは、昨年度から実施しているとまこまい広域農協青年部のみなさんとの食育プログラム(あつまっ子ふるさと体験教室)で昨秋、収穫したお米を使い、子どもたちが主体となってお店を運営し、放課後教室の活動や厚真の農産物のPRをしよう!という発想から始まりました。地域の主幹産業である農業・農産物と子どもたちの暮らしを結ぶものとして、選んだ方法が流通・販売をする商い=お店屋さんです。そこで、今回は厚真町商工会青年部さんに協力を依頼。1日目には、まちのお店屋さんへの見学や、商工会青年部の方を講師に迎えてのお店の開き方講座、お店屋さんロールプレイングなどを通じて、お店を運営する基本的な要素を学びました。2日目は、1日目に学んだことを生かして、実際に子どもたちが準備から運営までをこなすあつまっ子カフェのオープンを目指します。会場は社会福祉協議会が開催する『ともいきの里夏祭り』。オープンに向けて、役割分担をし、会場でのテント設営や看板づくり、商品につける値札などのPOPや放課後教室の活動をお知らせするPRボードづくり。商品の仕入れ交渉をして品物を受け取りに行ったり、商品の陳列の仕方を考えたりと準備もすべて子どもたちが主体となって行いました。お店では収穫したお米を製粉し、加工したお菓子や農協青年部さんに依頼して仕入れた野菜などを販売。最初は声の小さかった子どもたちも、次第に大きな声でお客さんに声をかけられるようになり、宣伝のためのチラシ配りや、出張販売にも積極的に取り組んでいました。ご来店いただいた保護者の皆さんをはじめ、地域の方々のおかげで商品は時間内に見事、完売!完売した瞬間にあがった「やったー!!」という歓声。達成感あふれる子どもたちの笑顔が忘れられません。売り上げから諸経費を引いて出た利益は、子どもたちにお給料として手渡されました。過度に儲けることが目的ではありませんが、お金を稼ぐことの大変さや、一生懸命工夫することの楽しさ、お金を大切にすることを学ぶこともひとつのキャリア教育になるのでは、と考えています。



お店屋さんを開くために必要なことを見て・聞いて・練習!



地域のたくさんの人のチカラを借りて、  
あつまっ子カフェ、いよいよオープン☆

商品の仕入れから会場設営、会計まで子どもたちがすべて担当

地域の方々と関わる中でそれぞれの組織・団体が抱える課題があることを知りました。その課題は、お互いの得意分野を生かして協働していくことができれば、何か新しい解決の糸口が見えてくるのではないのでしょうか。私たちの得意分野である子どもたちの“あそび”に、“はたらく”をプラスしていけば、子どもたちが地域社会に貢献する仕組みをつくることができると考えています。『子どもも大人も本気で遊べばまちが元気になる』仕組みづくりを、私たちは目指していこうと思います。